

「最近のラフカディオ・ハーン関連の各地の活動について」

1. 「ヘルン文庫」の活動状況について

- ・市民ボランティアによる定期公開
- ・新入生、一般市民対象のヘルン文庫見学ツアー
- ・企画展示会
- ・富山八雲会との共催イベント
- ・ヘルン文庫ホームページからの情報発信
- ・その他

2. 最近のハーン関連の活動について

資料1 シンポジウム、展示会等一覧

資料2 全国ハーン関係団体一覧

3. その他

トピックス

シンポジウム・展示会等一覧

開催日	メインテーマ・主催等	内 容
2008.10.25	アメリカのラフカディオ :ラフカディオ・ハーンと19世紀末のアメリカ合衆国 会場:松江市総合文化センター 主催:松江開府400年ラフカディオ・ハーンプロジェクト実行委員会 松江市立中央図書館 島根県立図書館、島根大学附属図書館	<基調講演> ・西川盛雄(熊本大学) 「ラフカディオ・ハーンのアメリカ時代:クレオール俚諺集『ゴンボ・ゼーブ』のこと」 <講演> ・小泉凡(島根県立大学短期大学部) 「ハーンのいた風景:シンシナティ・ニューオーリンズ・マルティニーク」 <演奏> ・小泉凡 「ハーンが聞いたニューオーリンズの音」 <パネルディスカッション> ・ロジャー・S・ウィリアムソン(北九州市立大学) 「弱者へのまなざし:シンシナティのラフカディオ・ハーン」 ・中川智視(一橋大学博士課程) 「世紀末の激変のはざままで:オズの魔法使いとラフカディオ・ハーン」 ・司会・進行:長岡真吾(島根大学)
2008.11.24 -2009.1.23	富山大学附属図書館ヘルン文庫展 :小泉八雲とその蔵書 会場:千代田区立図書館 主催:富山大学、千代田区立図書館 後援:アイルランド大使館 協力:富山八雲会	<企画展> 小泉八雲とその作品、ヘルン文庫の由来について等の紹介パネル展示、ヘルン文庫蔵書の展示。 <講演会> ・南日康夫(富山八雲会会長) 「ヘルン文庫と旧制富山高等学校」
2010.6.26 -9.5	へるんさんの秘めごと :小泉八雲生誕160年来日120年記念展 会場:熊本市現代美術館 主催:熊本市、熊本美術市美術文化振興財団、熊本日日新聞、YUK熊本テレビ	<企画展> 八雲と同時代に生きた画家たちの作品、現代日本のアーティスト9名の作品と展示して、文学方面ではなく、現代芸術という方面から検証する。 <講演会> ・富澤治子(熊本市現代美術館学芸員)「展示会について」 ・小泉凡「小泉八雲を現代に生かす」 ・西川盛雄(熊本大学名誉教授)「ラフカディオ・ハーンのクレオール文化について」 ・跡上史郎(熊本大学准教授)「小泉八雲のマンガ」 ・大熊敏之(富山大学准教授)「小泉八雲と日本の技芸:富山大学ヘルン文庫を手がかりに」 <浪曲公演会> ・国本武春(浪曲師)
2010.10.2 -11.14	小泉八雲展:生誕160年来日120年 会場:県立神奈川近代文学館 主催:県立神奈川近代文学館 財団法人神奈川文学振興会	<企画展> 八雲の永住の地日本における14年余りの日々を中心に、草稿、書簡、初版本、愛用品、写真など約400点によって54年の生涯と作品を紹介する。 <講座> ・東雅夫(アンソリジスト)「小泉八雲と日本の怪談」 ・小泉凡(民俗学者)「ラフカディオ・ハーンと21世紀」 <朗読会> ・佐野史郎(俳優)「耳なし芳一」「雪女」 <講演会> ・辻原登(作家)「多面立方体作家、ハーン」

シンポジウム・展示会等一覧

開催日	メインテーマ・主催等	内 容
2010.10.9 -10.10	ハーンの神在月 ：全国・小泉八雲&ミュージアムの未来を考える サミット	1日目 <演奏・朗読> 「神々の国の首都」より心象 パイプオルガン：米山麻美 朗読：小泉凡 <グループ討議> 「いま、どういふ場で八雲が生かせるか？」 ・学校教育の場<座長>門間光紀(みちのく八雲会主宰) ・研究の場<座長>西川盛雄(熊本大学附属図書館学術資料調査研究推進室) ・文化活動の場<座長>風呂鞆(広島ラフカディオ・ハーンの会主宰) ・観光の場<座長>高橋一清(松江観光協会観光プロデューサー) <パネルディスカッション1> 「八雲を生かす4つの場」 パネリスト：グループ討議座長 <ヘルンをたたえる青少年スピーチコンテスト(第44回)> 入賞者によるスピーチ 2日目 <講演> ・小泉凡(小泉八雲曾孫、島根県立大学短期大学部教授) 「ハーンを現代に生かす」 <トーク&映像> 舞台の上の八雲「奇ッ怪～小泉八雲から聞いた話」の公演を通して ・前川知大(劇作家、演出家) ・聞き手：小泉凡 <パネルディスカッション2> 「小泉八雲ネットワークの構築に向けて」 ・広田かおり(池田記念美術館学芸員) ・栗林裕子(富山大学附属図書館) ・坪井れい子(焼津顕彰会) ・富澤治子(熊本市現代美術館)、 ・石川陽春(八雲会)、 ・森秀雄(松江市観光振興部)
会場：松江市総合文化センター 主催：小泉八雲来日120年記念事業実行委員会 共催：松江市		
2010.10.10 -11.14	The Open Mind of Lafcadio Hearn (ラフカディオ・ハーンの開かれた精神)：小泉八 雲に捧げる造形美術展	<展示会> 2010年10月に、アテネのアメリカンカレッジで世界7か国41名のアーティストによるハーン・アート展が開催されたが、この流れをくむこの美術展は、日本人作家による作品約20点と海外在住作家による作品30点、ギリシャアメリカンカレッジから6点の作品を展示。文学者小泉八雲の精神性をアートで表現する。
会場：松江城天守閣、小泉八雲記念館 主催：小泉八雲来日120年記念事業実行委員会		

シンポジウム・展示会等一覧

開催日	メインテーマ・主催等	内 容
2010.12.19	<p>公開シンポジウム小泉八雲と早稲田大学 ：小泉八雲生誕160年、来日120年</p> <p>会場：早稲田大学大隈講堂 主催：早稲田大学国際言語文化研究所</p>	<p><基調講演> ・島善高(早稲田大学教授)「早稲田大学と小泉八雲」 ・中島国彦(早稲田大学教授)「早稲田大学と早稲田の文人たち」</p> <p><朗読> 小泉八雲作品の朗読 原良枝(フリーアナウンサー)</p> <p><パネルディスカッション> テーマ：今、私たちは八雲から何を学ぶか ・小泉凡「小泉八雲の家庭教育」 ・ポール・スノードン(早稲田大学教授)「英語教師としての小泉八雲」 ・照屋佳男(早稲田大学名誉教授)「小泉八雲の文学と生活」 ・鶴岡真弓(多摩美術大学教授)「八雲`東西南北`の世界観」 コメンテーター：伊藤玄二郎(関東学院大学) コーディネーター：池田雅之(早稲田大学国際言語文化研究所所長)</p>
2011.11.26	<p>小泉八雲来熊120年記念熊本シンポジウム</p> <p>会場：熊本大学 主催：熊本スピリット発信協議会、熊本大学他</p>	<p><基調講演> ・小泉凡(島根県立大学短期大学教授・ハーン曾孫) 「ハーンと熊本：丸山学の民俗学とハーン」</p> <p><アイルランド音楽演奏> ・アイリッシュ・クリーム「ハーンの愛したアイルランド音楽」</p> <p><パネルディスカッション> 「ハーン来熊120年(これまでとこれから)ハーンの多面性の底流にあるもの」 ・池田雅之(早稲田大学教授)「再話『怪談』の作家としてのハーン」 ・長岡真吾(島根大学教授)「ジャーナリストとしてのハーン」 ・西川盛雄(熊本大学客員教授)「教育者としてのハーン」 コメンテーター：小泉凡 司会：アラン・ローゼン(熊本大学元教授)</p> <p><清和文楽公演> 雪女</p>